



森のなかま

2021年11月号

NO.161 (継続306号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

《自然観察部会主催 公財かながわトラストみどり財団 共催》

第99回森林探訪

『鎌倉の緑地でかながわの自然を観察しよう』

日時： 2021年9月26日(土) 9:00~13:00 くもり

場所： 鎌倉市 広町緑地

参加者： 約30名

(公財)かながわトラストみどり財団： 榎様、斎藤様

看護師：青木様

インストラクター：L 小池⑫、赤崎⑫、酒井⑩、小笠原⑩、河西⑮

(記 写真 河西 静夫⑮ 写真 赤崎 さほり⑫)

コロナ感染拡大により今年度最初となった森林探訪で鎌倉広町緑地(以下緑地)を訪問しました。鎌倉市の南西部、七里ガ浜を望む高台にある48haの都市林です。地域住民の保護活動によって都市公園として整備されてきたこの緑地は、三つの谷戸と里山で構成され、多種多様な動植物を見ることができる貴重な場所となっています。

参加者約30名は、西鎌倉駅から順次、緑地近くの腰越山王下公園へ。そこでオリエンテーション後、約10名の班毎で出発しました。

緑地入口の管理棟前に実を沢山つけたエゴノキがあり、観察中にヤマガラが2度も実を取りに来てくれました！ホタルの生息する小川と田んぼに挟まれた小路の脇には、ミズヒキ、ノコンギク、キンミズヒキ、ママコノシリヌグイなど色とりどりの秋の花が咲き、これらを楽しく観察しながら進みました。環境変化に敏感なタコノアシも、ボランティアによる手入れが行き届いたこの地では普通に生息。赤褐色に色づいて「蛸の足」のように見える果穂を間近で観察することができました。



ナンバンギセル



タコノアシ



シロバナサクラタデ

小竹ヶ谷から尾根道に。すぐ側に民家が建つ都市林ならではの環境ですが、そこは年数を重ねたタブノキやスタジイが樹冠を覆い、昼でも薄暗い常緑広葉樹の森でした。最後に、きはちの窪からミゾソバが一面に咲き乱れる湿地帯を抜け、ナンバンギセルの咲くススキの原を経て管理棟に戻りました。

コースの要所（3か所）では、この地で保全ボランティア活動に参加している酒井さんに、この緑地における保護活動の経緯や自然について解説していただきました。参加者の方々は、宅地化の危機を乗り越えた話や、国の政策による植林とその後の放置によって荒廃したスギ、ヒノキ林の話に興味深く聞き入って下さり、反応は上々でした。



神奈川県下は緊急事態宣言発令中のため、マスク着用などの感染予防対策を施し、昼食なしの半日開催でしたが、秋の自然をゆっくりと観察することができた森林探訪でした。

第二回、第三回 森林探訪の参加者募集中

2. 11月28日（日）弘法山



「丹沢の晩秋を弘法山ハイキングで楽しむ」

（丹沢大山自然再生委員会共催）

9時00分 小田急線 秦野駅 集合 歩行距離約8km

15時00分ころ解散予定 昼食時間あり 募集 11月20日必着
参加費1000円 割引はありません

3. 2022年3月12日（土）道保川公園



「早春の水源と丘陵の自然を相模原で観察しよう」

（かながわトラストみどり財団共催）

9時00分 JR相模線 上溝駅 集合（その後公園まで徒歩20分）

13時00分ころ解散予定 昼食時間なし 募集 22年3月5日必着
参加費1000円 みどりのトラスト会員証提示で500円

持ち物：飲み物、昼食（第2回のみ）、雨具など、必要と思われるもの。
服装：ハイキングができる程度（長袖、長ズボン、帽子）、履きなれた靴。
募集人員：各回 40名 申し込みは、メールまたは往復はがきにて。

森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記載し

〒243-0018 神奈川県厚木市中町2丁目13番14号 サンシャインビル6階
604号 自然観察部会 森林探訪係

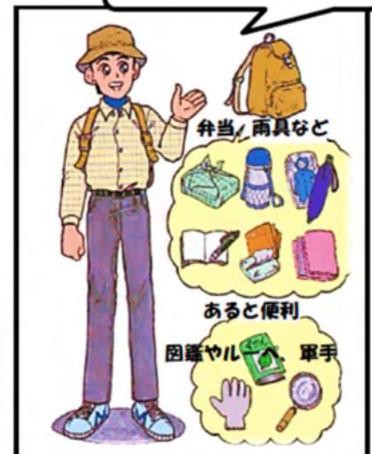
kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp

（問い合わせ TEL 090-6150-6173）担当：赤崎



園内散策

服装の一例



活動短信

今回の掲載はR3年9月22日から10月6日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

11月(霜月)(旧暦10月神無月)の

二十四節気と七十二候

立冬 11/7 頃

冬の始まり、大地が凍り始め、山茶花や水仙が咲き始める。

小雪 11/22 頃

積もるほどではないが、雪が舞う、木枯らしが吹き、橘が黄色く色づく。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できればWord、メール直筆でもOK。Excelはできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラスみどり財団、**看** 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター① (○数字:期) **研**:研修枠

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 人の森まなびの森活動

『華厳工場森の整備体験』

日 令和3年9月22日(水)9:00~16:00 晴れ

場 厚木市飯山 人の森(株)華厳工場植林エリア

参 17名

イ L小野⑦ 松永⑩ 西出⑫ 鈴木⑭

9時に工場に入り、同社の車にて敷地内上部植林地へ下見に向かう。現地は石材採取跡地に桧・杉を植林した処で、作業は3班編成として3区画に分け選木した。

事務所に戻り参加者と合流、会社挨拶後 社長直々のお話が有り、植樹開始時の苦労話(道路も未整備の予定地迄苗木を運び上げた)など緑化に対する真摯な取組に敬服。

式後参加者は現場へ向かい移動し作業開始。道路右側ヤードは端が切り立ったガケで危険な為、間伐した材(枝付き)を並べ落下防止柵を設置する。この材の上に枝払いした枝や散乱している枯枝を積上げたこの



作業で場内整理が進み、随分スッキリした。

2時半には作業終了、事務所へ帰着して

「森林の役割、日本の林業の現状、ナラ枯れ」を小野が講話、質疑応答に続き参加者全員の所感発表が有り定刻16時には終了。

チェーンソーを使って緑化を担当している 女子社員等、まさに会社名“人の森”どおり多士済々、東京ドーム136ヶ分の会社所有林管理に今後とも腕を振るわれる事と存じます。元気で明るい方々と一日活動させて頂き昼食迄ご馳走になりました事にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

(記 小野 幸広 ⑦)

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は12月号です。

森のめぐみ シリーズ

◆ 鎌倉市「緑のレンジャー・シニア」 講座(第5回)

日 令和3年10月2日(土)10:00~12:00 晴れ

場 散在ガ池森林公園

参 11名(男性7、女性4)

スタッフ 鎌倉市公園協会2名

イ L女川⑨、安部⑤、水上⑬

活動内容は、「森林公園を巡回しながら植生について学び公園・緑地の管理上の問題点等を考える。」こと、および次回講座で「枝払い・間伐」を行う木を選定することです。

湖畔で樹木の基本的な性質、森林の階層構造の説明を行い、植栽されたソメイヨシノの劣化診断や周辺の樹木について説明した。“馬の背の小径”を登る。植生の特徴や、ナラ枯れ被害が見られるコナラの穿入孔(カシノナガキクイムシ)と木くずを観察しながら、園内最高地点(107.6m)へ。台風一過の晴れでしたが、富士山は見られず。雨上がりの階段に注意するように声をかけ、“のんびり小径”を下り、次回の予定地へ。

公園の管理から、枯損木、景観、林内密度等からの選木の必要性を説明し、伐採木等にテープを。園路を下りながらポイント毎に植生上の説明を行い、最後に湿った法面に群生する「ケイワタバコ」を見て、湖畔に戻り、とりまとめの説明をして終了。

(記 水上 正昭 ⑬)

午後はAコースを回り、ホウキタケ類の仲間が円を描くように生える「菌輪」も観察できました。水源林では約200種が観察されているとのことですが、後日、記録写真を詳細に講師にみてもらおうと今回は約30種のキノコが観察された事がわかりました。来年度もキノコ観察企画を予定していますので乞うご期待を！

(記 水口 俊則⑨)



ツチグリ …… 袋の中は孢子塊で一杯

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。
 かながわの水源環境の
 保全・再生をめざして
<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ やどりき水源林 キノコ観察研修

- 日 令和3年10月2日(土) 晴れ
- 場 やどりき水源林
- 参 11名(講師含む)
- 講師 島岡③様
- 参加者 佐藤①、鈴木⑤、水口⑨、松本⑪、上宮田⑪、永松⑫、古舘⑬、笠原⑭、鶴井⑮、中澤⑯

インストラクターのスキルアップを目的に、やどりき事業部 植物班主催で、キノコ観察研修を開催。講師はキノコの第一人者であるインストラクターの島岡氏③に御願いました。

最初に座学としてキノコ観察の心得(マナー)、キノコの役割、見分け方について説明受け、早速きのこを探しに。まず広場のトイレ手前では春に沢山のツチグリがあった所で、探してみると固めの袋状のものを発見。中を切ってみるとぎっしりつまった黒い孢子塊がみられ、もう、来春の準備ができているのにはびっくりです。隣の鹿柵内では「先生！ここにもこんなキノコが」と声が上がり、先生も大忙し。同定は更に吟味が必要とのことでしたが、ヌメリガサ科、ホウライタケ科・タマチョレイタケ科・フウセンタケ科・シロソウメンタケ科などなど沢山の可愛いキノコに出会えました。



キノウケンジの仲間



ホウキタケ類の仲間



観察会の風景



◆ 第9回 県民参加の森林づくり(枝打ち)

- 日 令和3年10月6日(水) 8:30-14:00 晴れ
 場 箱根町畑宿(県有林)
 参 63名
 財 大木様、倉野様、寺本様
 看 佃看護師
 県 自然環境保全センター(足柄出張所)鈴木様、野口様
 スタッフ 小田原市森林組合 城所様、高橋様
 参加者 L 大澤⑩、古館⑬、野牛⑧、小松⑭、内野⑨、水津⑨、
 鈴木⑭、滝澤⑤、吉田⑪、岡村⑯、柏倉④、渡辺⑫
 久米次⑯、水上⑬、上宮田⑪、武田⑯
 安パト 宮下⑩、石井⑯

コロナの緊急事態宣言が終わり久しぶりの活動再開。天気も一面の青空で快晴。箱根の現地ではアキアカネが飛び交いススキの穂も一面に、風も高原の風。気温は高いながらも秋の気配は十分です。

現場のスギ林は8、9年生にしては良い成長で樹高7、8m、びっしりと枝が生えています。林の中に入ると事前の説明の通り中は真っ暗。快晴の空の下とは思えないくらいの暗闇です。

各々の樹は1m間隔程度。枝は樹の根本から生え下部は日が当たらないので既に枯れ枝になっている。足の踏み場にも注意しながら届く範囲の枝を払うと少しずつ真っ暗な林内が昼の光に包まれ始める。

今回の作業は単に枝を払うだけでなく落とした枝を幹の周りに囲みウサギなどの食害の防止の効果確認をしている。この作業に意外と時間がかかる。

しかし皆さん手際が良いのか、予定よりも早く12時前には作業場所の手入れを無事完了。

参加者は初めての林業体験の方、また高校生も参加されていて楽しんで作業されていた。道具を片付け箱根恒例の温泉に。作業でかいた汗を流してサッパリと。帰路の途中からあの青空が一面の雲に覆われてきました。

事故もなく、気持ち良い一日を過ごせたとの感想を頂き、森林への関心と必要性の理解の一助になったと思います。(記 吉田 郁夫⑪)



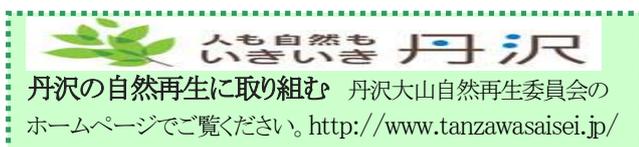
森林インストラクター14,15,16 期生有志メンバーが里山の手入れをお手伝いしている、大雄町花咲く里山で、ざる菊まつりが開催中です。(令和3年10月23日から11月23日まで 南足柄市大雄町五本松・原地区にて) 詳しくは、南足柄市役所のホームページをご覧ください。[2021年 ざる菊まつり開催情報 | 南足柄市 \(city.minamiashigara.kanagawa.jp\)](http://city.minamiashigara.kanagawa.jp)



ざる菊

14,15,16 期生有志は、里山の手入れ(草刈り、間伐、竹林整備、イノシシ柵の取り付け)など里山景観維持保全のお手伝いに毎月1回汗を流しています。

上の写真は、南足柄市ホームページ掲載の物ですが、活動参加のインストラクターの情報によれば、10月の急な寒さに開花が少し遅れているようです。



やどりき水源林ミニガイド

森のなかまは過去号もご覧になれます。(ホームページ) http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01 (HP担当：井出恒夫)

「森の案内人」森の案内人がお待ちしています。水源林にお出かけください。

「やどりき水源林ニュース」の表紙画像。秋の実りを探しに水源林へ。記事の目次や写真が掲載されている。

http://www.forest-kanagawa.jp/4field/news/news190.pdf 10月号が発行されました。「秋の实りを探しに水源林へ」です。

●問合せ：(公財)かながわトラストみどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300 ●ホームページ: http://www.ktm.or.jp E-mail: midori@ktm.or.jp

◇ 森のなかま原稿募集 ◇ 会員読者の皆様から広く募集しています。<広報全般についてのお問い合わせ> 黒川 敏史 kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp Tel: 080-5477-2206 <電子配信会員向け担当> 笠原 Mail: happy_kumakuma711@icloud.com <電子配信企業等パートナー様向け担当> 柳澤 Mail: kshinrin_pr@icloud.com <メール・手書き原稿送り先> 【本誌】黒川 敏史 Fax: 0467-46-8650 電話連絡先: 080-5477-2206 kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp 【別冊】小林 照夫 (11月号から) Mail: kobayashi@ts-pocket.jp 原稿は随時受け付けています。

年間通読のお申し込み 「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。郵便振替口座 00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会 宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集後記 ★コロナが激的な低減をしています。原因は不明とか。 今まで世界の各国で増減を繰り返している現状のデータがあるのにそれらの原因も不明なんですかね? 各国での原因解析なんて出来てなかったの?? まだこのレベル? 科学の進歩はここ二百年ほどで非常な進歩を遂げていると思うのですが、まだまだ分からない事象のほうが多いに多いんでしょうね。 ノーベル賞を取るほどの研究が日本ではできなくなっている現在を憂います。 科学の進歩がより良き世界を目指して進んでいくことを希求しました信じて。(吉田)

★夏から一気に冬の様な寒さになって、着る物が無い!と慌てて冬物に入れ替えました。今年は秋の夜、月や虫の声を楽しむのも、短くなったと感じています。(笠原)

★あつという間にもう11月。山の紅葉は日ごとに里に降りてきています。今年はお気に入りのマイ紅葉スポットに行くことにしましょう、コロナで荒らされないうちに。(武田)

★コロナのこの急激な減り方は、どうしたんでしょう。飲食店への時短要請も解除されましたが、急減の原因がわからないので何となくみんなもややもや。

私としては、ウィルスのDNAコピーミスによる、自壊説が正しいような気がしますが、有力説になりませんね。この説が正しければ、新たな変異株による第6波が近い将来やってきます。でもワクチン普及が進み、治療薬もぼちぼち出来てきたようなので、これからは、騒ぐことなくwithコロナで行きたいですね。 コピーミスと言えば、本誌も他のHPのリンクのコピーがたくさんついていますが、ミスしないようにしないと。(黒川)

編集人: 黒川 敏史 広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ 加藤優美 阿藤壽孝 竹内明彦 柳澤千恵美 小林照夫 武田昭典 中澤良夫 支援: 大原正志 江頭淑子

南足柄市ぎる菊まつり 前ページで触れた南足柄市内のぎる菊まつりですが、何か所かで行われています。気持ちの良い秋の日を訪れるのも良いかと。 ○大雄町花咲く里山 ぎる菊まつり 10/23-11/23 大雄町五本松・原地区 ○矢倉沢ぎる菊ウィーク 10/30-11/7 矢倉沢地区 ○内山 秋の花紀行 ザルギクまつり 10/30-11/7 内山地区 開花はちょっと遅れ気味との情報があります。

